

上地区では既報のとおり国の指定を受け、ほ場整備後の営農を如何に組みか、又、これを契機として、自分達の地域をより住みよくするため、地域ぐるみの検討が続けられ、計画が進んでいる。

この事業は、国が新しく打出す三次構造改善事業のモデルとして、実験的に行われるもので、特長は今まで国の事業の恩恵に浴さない地区を飛躍的に農業生産を高めると共に、生産のみならず、生活環境等総合的な整備を進めることとされている。上地区では発展対策協議会を中心におおむね次の様な基本構想で計画案を作り、各農家の個別計画を策定することになった。

(一) 農用地の高度利用を促進する

農用地を高度利用出来るよう極力土地を整備して、麦作、園芸作物の栽培に利用を図る。特に中核農家の利用が進むよう、賃貸借契約等を奨める増進事業を行う。

- ◎ 裏作期間借地して麦作等を行う場合
II 利用料 米一俵程度
- ◎ 三年の賃貸借契約を結ぶ場合
貸借料 米三俵相当額

(二) 稲作の機械化組織による高能率生産体制を確立して、その推進を図ると共に中核的担い手農家を育成し安定した農業生産を行う

稲作受託組織を当面一集団設けて五二年度においてトラクター(四〇馬力)一台、五三年度にコンバイン(四条)二台を装備して委託作業を受ける。受託作業料金次のとおり(但し圃場整備田にして標準的水田)

- 荒起し 二、五〇〇円
- 荒代かき 二、〇〇〇円
- 仕上代かき 一、五〇〇円

上地区の高度農業 生産モデル地域整備 実験事業のすすめ

- 稚苗出植 四、〇〇〇円
 - 防除一回 二〇〇〇円
 - コンバイン刈取 八、〇〇〇円
 - ライスセクター 一、〇〇〇円(俵)
 - そ菜荒起、畦立 五、〇〇〇円
- と暫定的に定め、各作業毎に各農家は何年から委託作業を行うかを計画することとしている。設定料金は、一般並より半額以下のものもあるが、購入費の二分の一が補

助金であること。機械性能が高いことから減価計算上なるもので、農家個々に導入することが如何に無駄であるか比較検討し、今後、農機具を買い替の時から、機械化集団への作業委託へ切替をすすめる事としている。

ちなみに一町作農家が単独でトラクター一台を購入すると代金約一〇〇万円掛かり、年利子だけでも七万で、委託作業では、仕上、代かきまで六万円受託してくれり、労働なしで、まだ一万円余りがある。

それでも、自分が機械を持ち、自分が仕事をしなければ気が済まぬとは一体どうした事だろう。世の中はかつてない不景気になつていると云うのに。

(三) 機械化集団への委託

作業等、近代化による余剰労力は、中核農業者、高令者、婦人等能力に合せ適合した作業労働に就業するよう適正な経営拡大をすすめる。

◎ 専業を志向する中核的農家には

- 上地区林地へ農場を開発し、肥育豚常時三〇〇頭、所得目標五〇〇万円
- ハウス園芸(西瓜+トマト)又は(いちご) 二、〇〇〇㎡、所得目標三〇〇万円。

◎ 婦人、男子中高令者、余暇型兼業従事者には

- ハウス一棟(一、〇〇〇㎡)

所得目標二〇〇万円。

◎ 露地園芸(西瓜+キャベツ)

- 二、〇〇〇㎡、所得五〇万円

◎ 高令者には

- 肉用牛一〜二頭の飼育を奨める
- 上地区の目標とする全体生産はハウス一〇棟の一〇、〇〇〇㎡
- 西瓜 五ha、麦 二〇ha、早生稲二〇ha、キャベツ 一五ha(内訳、早生稲跡一〇ha、西瓜跡五ha等)。肉用牛増頭 二〇頭余。

(四) 土地基盤条件の整備と地力対策の推進

◎ 近代生産展開の元となる基盤条件を整備するため、県圃から外れている圃田地区二四haについても、大型機械が入るよう、こ

の事業で圃場整備をする。

◎ 整備田の地力が増進するよう、堆肥を投入し、土づくりを行う特に、養豚団地等の畜産経営と有機的運けいの中で組織的に実施する。

堆肥センターの堆肥 反当一t
四、五〇〇円で投入運動展開。

(五) 農村生活の環境整備を推進する

生産と生活の環境条件が均衡ある形で推進するよう生活の条件整備を進める。特に農村を終生の生きがいのあるものとして、老人の健康増進、婦人等の体力づくり、生活研修が進むよう、地域施設の充実を図ることとし地域の要望を集約している。

魅力ある地域づくり を目標して

上地区発展対策協議会長 山田 恭 輔

昭和52年の年頭にあたり、上地区の比類なき向上をめざして新たな意欲に燃えています。何卒今年もよろしく願っています。

さて上地区が他地区に先立つて圃場整備の恩恵に浴し、その上農林省の高度農業生産モデル地域整備実験事業の指定を受けて、地区内の農業振興と環境整備への取り組みの機会を得たことは、地区の将来のため、大変喜ばしいこと

であります。このモデル実験事業を巧みに利